

- スズキ、「アルト」のカーテンエアバッグに不具合があるとしてリコール 2021年11月4日～同年12月24日に生産した1322台  
カーテンエアバッグにおいて、クッションの縫製が不適切であったため、展開が適切に行われないものがある。そのため、衝突時にカーテンエアバッグによる乗員頭部の衝撃吸収性能が不足する恐れがある。
- メルセデス・ベンツ日本、「GLB200d」等計35車種について、MBUXマルチメディアシステムの不具合によりカメラの映像が表示がされないケースがあるとしてリコール 2018年11月26日～2021年10月22日に輸入した2万4132台  
カーナビのモニタにおいて、MBUXマルチメディアシステムの制御プログラムが不適切なため、起動時に何も表示しない、あるいは、起動時に再起動し数秒間画像表示が途絶えることがある。そのため、モニタによる直前直左視界の確認ができない恐れがある。
- ダイハツ、「ロッキー」・トヨタOEM「ライズ」のハイブリッド車について、ECU(エンジン制御コンピュータ)に不具合があるとしてリコール 2021年11月1日～同年12月23日に生産した1万1349台  
発電に用いるエンジン制御コンピュータのプログラムが不適切なため、走行中にエンジンが停止した直後の加速時に再始動できないことがある。そのため、エンジン警告灯が点灯して加速不良となり、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、バッテリー残量不足により走行不能になる恐れがある。
- テスラモータージャパン、テスラ「モデルS」のフロントトランクに不具合があるとしてリコール 2015年5月28日～2020年7月17日に生産した1352台  
フロントトランク第2ラッチの取付部の設計が不適切なため、仕様にあった嵌合がされていないものがある。そのため、運転者が意図せず第1ラッチを開放した場合、第2ラッチが機能せず、トランクフードが開放し、ドライバーの視界を妨げる恐れがある。
- トヨタ自動車、「ハリアー」のリアウインカーが作動しなくなる恐れがあるとしてリコール 2020年9月17日～2021年5月28日に生産した7万0046台  
リアウインカーのLEDソケット内にある回路基板の耐久性が不十分なため、雨水等がソケットに滴下して基板に結露が発生することがある。そのため、結露した状態での通電と乾燥を繰り返すと、基板上に短絡回路が形成され、最悪の場合、リアウインカーが作動しなくなる恐れがある。
- UDトラックス、「クオン」のリアバンパーブラケットに不具合があるとしてリコール 2020年11月4日～2021年10月15日に生産した2364台  
リアバンパーブラケットの構造体同士を締結するリベット止めが不適切なため、保安基準第18条の2(突入防止装置の基準)に定める強度要件を満たしていない恐れがある。
- ポルシェジャパン、「パナメーラ」等計25車種について、インストルメントクラスターに不具合があるとしてリコール 2020年10月22日～2021年12月1日に輸入した1012台  
横滑り防止機能(PSM)警告装置において、インストルメントクラスターの制御プログラムが不適切なため、点灯機能点検時に警告灯が点灯しない。そのため、作動不良と誤認される恐れがある。